

ヘルパーステーション

『地域で学べる介護講座』

第1回：5月「オムツ交換・実技講習」開講しました。オムツメーカー（白十字）の方に講師を依頼し、オムツを使用する際の注意点等を教えていただきました。地域の方からは、「また参加したいです。」との声が聞かれました。

＊研修後のアンケートより＊

- ・その時の状況によりパットを使い分ける事を学んだ。
- ・尿漏れの原因があて方にあると理解した。
- ・専門の方の説明はとてわかりやすく納得できました。
- ・パットの種類によって吸収量が違う事がわかった。
- ・自己流になりがちなので、勉強したことを試してみたい。



●次回の講座内容「高齢者の食事と栄養」

7月20日（水）11:00～12:00

7月28日（木）14:00～15:00

居宅支援事業所・地域包括支援センター

～平成28年4月から介護予防・日常生活総合事業が始まりました！～

高齢者の方が住み慣れた地域でいつまでも元気に自立した生活が営む事ができるよう、地域の実情に応じた介護予防生活支援サービスを充実させ、ひとりひとりの状態や必要性に応じてさまざまなサービスが提供できるようになっています。

早速、福祉の森サロンの“サロン・ド・デコポン”に総合事業についての出前講座に行ってきました。



その他

ケアタウン成増に対するご意見、ご要望、苦情などありましたらお気軽に声をかけてください。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。次号は10月上旬発行予定です。お楽しみにして下さい。

<http://misono-fukushikai.or.jp/>



たんぽぽ通信

平成28年7月発行 第35号

社会福祉法人みその福祉会・ケアタウン成増



～6月8日 みその幼稚園交流会～

平成27年度を振り返り

社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

平成27年度は当法人にとって福祉人材確保について大きく変化した年となりました。今まで介護関連の有資格者や経験者を中心に採用活動してきましたが、平成27年4月より積極的に無資格、未経験の職員を採用し、法人内新人研修制度及び働きながら施設内で介護職員初任者研修・実践者研修が受講できる制度により、現在では一人前の職員として立派に活躍して頂いております。また日常の記録を電子化し、職員同士の情報共有を更に進め、業務の効率化を図りました。特に特別養護老人ホームご利用者のお薬の情報を電子化し、業務の標準化を進めることにより安全性を更に確保することが出来ました。

平成28年3月に社会福祉法の改定が行われましたが、改定に合わせるように社会福祉法人の社会貢献について当法人内外にて様々な検討を行いました。平成28年4月に熊本地震における大きな災害がありましたが、当施設も災害に備え板橋区や志村消防署、地元町会、町会内の特別養護老人ホーム職員の方々と共同にて避難訓練を行うことが出来ました。また平成27年11月より認知症カフェ「たんぽぽカフェ」を当施設で定期的で開催し、夏の猛暑日には施設ロビーに「給水ステーション」を設置し、地域の皆様にご利用頂きました。

平成27年度も多くのボランティアの皆様に来所していただきました。成増ヶ丘小学校の6年生の皆さんが4年生時の交流会をきっかけに、ご卒業まで自主グループとしてボランティア活動を続けていただきました。この活動に対して板橋区から「板橋区青少年表彰」を授賞されました。

ご関係の皆様には、これからも当法人にご支援・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

